

# 近畿



近畿の景況は、住宅建築が弱含んだものの、生産活動が回復に向けた動きとなるなど、持ち直し。

個人消費は、大型小売店販売が増加したほか、コンビニエンスストア販売も増加し、上向き。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも減少し、弱含み。設備投資は、中小企業で投資抑制姿勢がみられ、伸び悩み。公共工事は、国、市町村が増加したものの、独立行政法人等、府県が減少し、全体では横這い。輸出は、半導体等電子部品、科学光学機器が増加し、回復に向けた動き。

生産活動は、電気機械、電子部品・デバイスが増加し、回復に向けた動き。観光は、主要ホテルの客室稼働率が低下するなど、足踏み。雇用は、現金給与総額が増加したほか、有効求人倍率が上昇し、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢